

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
 コード番号 2489 URL <http://www.adways.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 田中 庸一
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日
 配当支払開始予定日 —

TEL 03-5339-7122

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,849	64.0	271	—	271	—	275	—
21年3月期第2四半期	3,567	—	△4	—	△2	—	△22	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3,475.42	3,390.39
21年3月期第2四半期	△287.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,976	3,316	66.6	41,749.42
21年3月期	4,379	3,026	69.1	38,221.97

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,316百万円 21年3月期 3,026百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	40.9	600	171.0	598	155.9	400	95.3	5,040.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 79,430株 21年3月期 79,185株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 0株 21年3月期 0株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 79,365株 21年3月期第2四半期 78,951株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前項に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等により、前項の予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、5ページ【定性的情報・財務情報等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)における我が国の経済は、世界的な金融市場の混乱に端を発した景気の後退に一部回復の兆しが見られるものの、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、インターネットのブロードバンド化や携帯電話の定額料金制の普及を背景に、市場規模は安定した成長を遂げており、当社グループが手掛けているアフィリエイト広告市場も引き続き拡大が予測されております。

こうした経営環境の中、当社グループは、国内のインターネット・モバイル関連業界において、アフィリエイト広告事業及びその他周辺事業に投資を行い、シェアの拡大及び収益力の強化に注力いたしました。

なお、平成21年6月に株式会社アドウェイズブックスの株式を取得(子会社化)したことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結対象としております。

売上高は、主にインターネット(PC)アフィリエイト広告事業及びモバイルアフィリエイト広告事業の売上高の伸長に加え、連結子会社である株式会社アドウェイズ・エンタテインメントが営むモバイルコンテンツ事業が順調に推移したこと及び、当第2四半期連結会計期間より新たに株式会社アドウェイズブックスの損益を連結したことにより、前年同四半期より2,282,410千円増加し5,849,889千円(前年同期比64.0%増)となりました。

売上総利益は、売上高の増加に伴い、前年同四半期より304,052千円増加し、1,086,843千円(前年同期比38.8%増)となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、前年同四半期より276,493千円増加し、271,805千円となりました(前年同四半期は4,688千円の営業損失)。

経常利益は、営業利益が増加したため前年同四半期より274,464千円増加し、271,699千円となりました(前年同四半期は2,764千円の経常損失)。

四半期純利益は、のれんの減損処理等により特別損失34,577千円を計上したものの、法人税等調整額を37,151千円計上したこと等により、前年同四半期より298,487千円増加し、275,826千円の四半期純利益となりました(前年同四半期は22,660千円の四半期純損失)。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①インターネット(PC)アフィリエイト広告事業

	平成21年3月期 第2四半期累計期間	平成22年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	1,078,268	1,324,478	246,210	22.8
(外部売上高)(千円)	1,072,475	1,323,169	250,694	23.4
(セグメント間売上高)(千円)	5,793	1,309	△4,484	△77.4
営業費用(千円)	979,025	1,232,922	253,896	25.9
営業利益(千円)	99,242	91,556	△7,686	△7.7
広告主(クライアント)数	1,174	1,028	△146	△12.4
提携Webサイト(メディア)数	153,580	179,717	26,137	17.0

当第2四半期連結累計期間におけるインターネット(PC)アフィリエイト広告事業は、主に収益力の回復を目下の課題とし、その点に注力した営業戦略の継続により広告主(クライアント)数は減少したものの、提携Webサイト(メディア)数は順調に増加し、売上高もそれに伴い増加しました。

しかしながら、競合他社との競争激化に備え、競争力強化を目的とした人員の増強を行ったため営業費用が増加いたしました。

この結果、インターネット(PC)アフィリエイト広告事業の売上高1,323,169千円(前年同期比23.4%増)、営業利益91,556千円(前年同期比7.7%減)となりました。

②モバイルアフィリエイト広告事業

	平成21年3月期 第2四半期累計期間	平成22年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	2,313,940	4,178,692	1,864,752	80.6
(外部売上高)(千円)	2,312,501	4,167,076	1,854,575	80.2
(セグメント間売上高)(千円)	1,438	11,615	10,176	707.4
営業費用(千円)	2,003,393	3,673,591	1,670,197	83.4
営業利益(千円)	310,546	505,100	194,554	62.7
広告主(クライアント)数	1,820	2,370	550	30.2
提携Webサイト(メディア)数	65,526	87,201	21,675	33.1

当第2四半期連結累計期間におけるモバイルアフィリエイト広告事業は、携帯電話の高速データ通信、定額料金制の普及によるユーザー層の拡大等を受け、広告主(クライアント)数、提携Webサイト(メディア)数とも順調に増加いたしました。それに加え、連結子会社である株式会社アドウェイズ・エンタテインメントのモバイルコンテンツ事業も順調に推移したため、売上高、営業利益が増加いたしました。

この結果、モバイルアフィリエイト広告事業の売上高4,167,076千円(前年同期比80.2%増)、営業利益505,100千円(前年同期比62.7%増)となりました。

③海外事業

	平成21年3月期 第2四半期累計期間	平成22年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	168,933	172,200	3,267	1.9
(外部売上高)(千円)	168,933	172,200	3,267	1.9
(セグメント間売上高)(千円)	—	—	—	—
営業費用(千円)	247,925	213,913	△34,012	△13.7
営業損失(△)(千円)	△78,992	△41,713	37,279	—

当第2四半期連結累計期間における海外事業は、中国のインターネット広告市場の拡大や中国へ進出する日系企業への営業強化により、売上高は順調に拡大しております。また、営業費用の削減に取り組むことにより、営業損失の改善を図りました。

この結果、海外事業の売上高172,200千円(前年同期比1.9%増)、営業損失41,713千円(前年同期より37,279千円の改善)となりました。

④新規事業・その他

	平成21年3月期 第2四半期累計期間	平成22年3月期 第2四半期累計期間	増減	前年同期比(%)
売上高(千円)	28,022	212,147	184,124	657.1
(外部売上高)(千円)	13,569	187,441	173,872	1,281.4
(セグメント間売上高)(千円)	14,453	24,705	10,251	70.9
営業費用(千円)	43,449	253,053	209,603	482.4
営業損失(△)(千円)	△15,426	△40,906	△25,479	—

新規事業・その他は、主に日本における新規事業を営んでおります。また、第1四半期連結会計期間において、新たに株式会社アドウェイズブックスが連結対象となったことにより、株式会社アドウェイズブックスの損益を当セグメントに加えました。

営業費用は主に国内におけるシステム開発、新規事業への先行投資及び、出版に係る費用等によるものであります。

この結果、新規事業・その他の売上高187,441千円(前年同期比1,281.4%増)、営業損失40,906千円(前年同期より25,479千円の増加)となりました。

※当第2四半期連結会計期間より、平成21年6月に新たに株式を取得(子会社化)いたしました株式会社アドウェイズブックスの損益を当社グループの「新規事業・その他」のセグメントに加えております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売上高の増加に伴う売上債権の増加により、前連結会計年度末に比べ597,794千円増加し、4,976,903千円となりました。純資産は前連結会計年度末に比べ289,550千円増加し、3,316,156千円となり、自己資本比率は66.6%となりました。なお、有利子負債はございません。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は、前連結会計年度末に対して32,124千円減少し、2,174,234千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、214,496千円の収入となりました。(前年同期比185,451千円増)。これは主に、売上債権の増加額が341,896千円となったものの、税金等調整前四半期純利益金額を237,397千円計上したこと、仕入債務の増加額が187,103千円となったこと、減価償却費43,974千円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、253,008千円の支出となりました。(前年同期は357,038千円の支出)これは主に、事業譲受による支出97,973千円、投資有価証券の取得による支出131,017千円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,570千円の収入となりました。(前年同期は8,121千円の支出)これは主に、長期借入金の返済による支出3,296千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入4,866千円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

当社グループが手掛けておりますアフィリエイト広告市場は、インターネット広告市場の拡大に伴い、成長を続けるものと予想されており、当社グループの業績も市場の成長とともに、当第2四半期連結累計期間におきましては、計画通り順調に推移しております。

当社グループは、アフィリエイト広告事業及びその周辺事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携Webサイト(メディア)数の増加、自社メディアの育成等により、利益率の向上を図るとともに、差別化を図ります。また、中国におけるアフィリエイト広告市場に関しても今後の拡大を予想し、一層の営業体制の強化を図り、売上高の確保を図ります。

このような状況の中、売上高は主にアフィリエイト広告事業が引き続き拡大が進むと予想し、11,700百万円を見込んでおります。

一方で、既存取引先との関係強化に向けた取り組みにより、利益率が若干低下したため、当社グループでは、販売費及び一般管理費の効率化に取り組み、利益率の維持を図ることによって、営業利益は600百万円を見込んでおり、経常利益は598百万円を見込んでおります。

当期純利益は、税金等調整前当期純利益から法人税等を差し引き、400百万円を見込んでおります。

以上により、平成22年3月期の業績見通しにつきましては、売上高11,700百万円(前期比40.9%増)、営業利益600百万円(前期比171.0%増)、経常利益は598百万円(前期比155.9%増)、当期純利益400百万円(前期比95.3%増)を見込んでおります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る、減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,174,234	2,206,359
売掛金	1,889,761	1,483,989
商品及び製品	5,290	19,459
仕掛品	7,322	—
原材料及び貯蔵品	111	105
繰延税金資産	35,034	23,865
その他	105,037	70,511
貸倒引当金	△47,370	△39,567
流動資産合計	4,169,423	3,764,723
固定資産		
有形固定資産	115,625	121,796
無形固定資産		
のれん	197,279	188,437
その他	124,249	127,676
無形固定資産合計	321,529	316,114
投資その他の資産		
繰延税金資産	70,483	5,225
その他	316,810	186,309
貸倒引当金	△16,968	△15,061
投資その他の資産合計	370,325	176,473
固定資産合計	807,479	614,385
資産合計	4,976,903	4,379,108
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,309,499	1,090,156
未払法人税等	—	10,354
ポイント引当金	16,458	22,953
返品調整引当金	52,862	—
その他	281,926	229,037
流動負債合計	1,660,746	1,352,501
負債合計	1,660,746	1,352,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,472,640	1,470,131
資本剰余金	1,462,640	1,460,131
利益剰余金	396,459	120,536
株主資本合計	3,331,740	3,050,799
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△15,583	△24,193
評価・換算差額等合計	△15,583	△24,193
純資産合計	3,316,156	3,026,606
負債純資産合計	4,976,903	4,379,108

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,567,479	5,849,889
売上原価	2,784,688	4,723,810
売上総利益	782,790	1,126,078
返品調整引当金繰入額	—	39,235
差引売上総利益	782,790	1,086,843
販売費及び一般管理費	787,478	815,038
営業利益又は営業損失(△)	△4,688	271,805
営業外収益		
受取利息	3,300	1,499
保険解約返戻金	931	—
受取手数料	—	600
その他	188	632
営業外収益合計	4,421	2,732
営業外費用		
支払利息	205	119
株式交付費	3	—
為替差損	2,274	2,150
その他	14	567
営業外費用合計	2,498	2,837
経常利益又は経常損失(△)	△2,764	271,699
特別利益		
違約金収入	7,861	—
固定資産売却益	—	50
償却債権取立益	—	224
特別利益合計	7,861	274
特別損失		
固定資産売却損	—	1,088
固定資産除却損	1,010	1,555
事務所移転費用	14,642	523
リース解約損	1,038	—
減損損失	—	31,409
特別損失合計	16,691	34,577
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,595	237,397
法人税、住民税及び事業税	3,936	—
法人税等戻入額	—	△1,277
法人税等調整額	6,642	△37,151
法人税等合計	10,579	△38,429
少数株主利益	486	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,660	275,826

(第2四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	1,942,066	3,184,508
売上原価	1,509,267	2,617,981
売上総利益	432,799	566,527
返品調整引当金繰入額	—	39,235
差引売上総利益	432,799	527,291
販売費及び一般管理費	410,154	411,954
営業利益	22,645	115,337
営業外収益		
受取利息	2,223	463
保険解約返戻金	931	—
為替差益	—	678
受取手数料	—	600
その他	187	186
営業外収益合計	3,343	1,928
営業外費用		
支払利息	104	104
株式交付費	3	—
為替差損	6,863	—
その他	14	124
営業外費用合計	6,985	229
経常利益	19,003	117,035
特別利益		
違約金収入	818	—
償却債権取立益	—	63
特別利益合計	818	63
特別損失		
固定資産売却損	—	583
固定資産除却損	603	225
事務所移転費用	7,200	—
リース解約損	1,038	—
減損損失	—	31,409
特別損失合計	8,841	32,217
税金等調整前四半期純利益	10,979	84,881
法人税、住民税及び事業税	1,747	—
法人税等戻入額	—	△2,312
法人税等調整額	6,048	△47,426
法人税等合計	7,795	△49,739
少数株主利益	486	—
四半期純利益	2,697	134,620

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,595	237,397
減価償却費	56,426	43,974
のれん償却額	3,941	24,040
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,237	8,719
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,179	△6,495
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	39,235
受取利息及び受取配当金	△3,300	△1,499
支払利息	205	119
固定資産売却損益(△は益)	—	1,038
固定資産除却損	1,010	1,555
減損損失	—	31,409
移転費用	14,642	523
売上債権の増減額(△は増加)	△176,071	△341,896
仕入債務の増減額(△は減少)	128,883	187,103
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△14,111	42,068
未払消費税等の増減額(△は減少)	29,051	△30,052
その他	△4,555	△20,517
小計	27,945	216,723
利息及び配当金の受取額	3,300	1,499
利息の支払額	△198	△115
法人税等の支払額	△2,002	△3,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,045	214,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,191	△12,434
有形固定資産の売却による収入	—	58
無形固定資産の取得による支出	△19,860	△13,423
事業譲受による支出	—	△97,973
投資有価証券の取得による支出	△150,262	△131,017
差入保証金の差入による支出	△6,783	△2,143
差入保証金の回収による収入	10,716	4,268
子会社株式の取得による支出	△18,414	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△152,635	△943
その他	△2,608	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△357,038	△253,008
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△8,754	△3,296
新株予約権の行使による株式の発行による収入	632	4,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,121	1,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,816	4,817
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△337,930	△32,124
現金及び現金同等物の期首残高	2,327,965	2,206,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,990,034	2,174,234

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	インターネット (PC)アフィリエイト 広告事業 (千円)	モバイルアフィ リエイト広告事業 (千円)	海外事業 (千円)	新規事業 ・その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,072,475	2,312,501	168,933	13,569	3,567,479	—	3,567,479
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,793	1,438	—	14,453	21,685	(21,685)	—
計	1,078,268	2,313,940	168,933	28,022	3,589,165	(21,685)	3,567,479
営業利益又は営業損失(△)	99,242	310,546	△78,992	△15,426	315,369	(320,058)	△4,688

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	インターネット (PC)アフィリエイト 広告事業 (千円)	モバイルアフィ リエイト広告事業 (千円)	海外事業 (千円)	新規事業 ・その他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,323,169	4,167,076	172,200	187,441	5,849,889	—	5,849,889
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,309	11,615	—	24,705	37,629	(37,629)	—
計	1,324,478	4,178,692	172,200	212,147	5,887,518	(37,629)	5,849,889
営業利益又は営業損失(△)	91,556	505,100	△41,713	△40,906	514,038	(242,233)	271,805

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) インターネット(PC)アフィリエイト広告事業
インターネットを介したアフィリエイト広告事業等
- (2) モバイルアフィリエイト広告事業
携帯電話を介したアフィリエイト広告事業等
- (3) 海外事業
海外におけるアフィリエイト広告事業等
- (4) 新規事業・その他
日本における新規事業等

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。